

第115号

月刊

על-פלגים

流れのほとり

連絡先 〒807-8691 北九州市八幡南郵便局私書箱 26 号 本部 TEL&FAX 093(692)8592
所在地 〒807-0004 北九州市小倉北区鍛冶町 2-3-13 北九州 YMCA 内
HP <http://bible-school.name/> E-Mail hope_to_tomorrow.y@san.bbiq.jp

ご計画の深さを

見忘れることなく

理事長 山口晶久

1985年の創立から、27年間の今日まで深く本校に関わって来ました私にとりまして、一地方の誠に小さな働きである聖書学校が継続されていますことは、神様の深いご計画と導きなくしては考えられないとつくづく思われます。本日、ご入学なさいました皆さまもご自身の信仰生活をお考えになりますと、折にふれて同様に思われることがございましょう。入学され二年ないし三年の時間を学友と共に過ごされます。年齢、性別、そして教派教会の背景も違う者が、聖書の学びを志し一同に会する。神様のなさる不思議さを覚えられと思います。個人も学校にとりましても、「神様に導かれて今日が、あるのです。」と、そう言えるでしょう。

今から45年近く前です。私の高校時代、教室で数学の授業を教わっていた頃です。高校2、3年であったと思います。白髪の男性高校教師が、たしか確立論という単元を教え

て下さっていた。午後の授業でした。クラスメートの皆が眠たうで、そして少々脱力感を覚えながら授業を受けていた。そんな生徒を察してか、ポケットから10円だったか100円だったか忘れましたが、右手の親指に乗せ、そのコインを天井に向けて跳ねた。そして片手でコインを捕らえ、両手のひらでコインを叩き隠し「表か、裏か？」と問うた。友人が大声で「表！」と叫びました。(いつの時代にもいるでしょう。ちよとひょうきんで目立つ人が、私もそんな感じでなかったかと心苦しく思います)。教師は笑みつつ、手のひらを開くと言葉のとおり「表」でありました。「表か裏か？二つに一つ・・・神がいるかいな。・・・数学者パスカルは神ありきの生涯を選び歩いた。君たちも神ありきの生涯を選び歩きたまえ・・・」。そのような話をなさった。無気力で脱力感を覚えながらボートとして数学の授業を受けていた私が、今日までまがりなりにも信仰生涯に導かれ歩みを進めている。考えると、「神様なぜ私なのですか？」と改めて問いたくなります。

スコットランドの寂しい片田舎にある小さな教会。長い間の伝道牧会を終えて、いよいよ引退する老牧師がいました。そこにあまり

好意を寄せていなかった一人の人が、「先生、いったいこの教会にいらっしゃる間に何人が回心し救いに預かりましたか？」と尋ねた。牧師が長い間伝道したのに、良い成績をあげなかったことを非難したのである。この老牧師は謙遜な面持ちで、この失礼な質問に答えました。「私が覚えている限りでは、たった一人の少年だけです」と。

しかし、この老牧師も質問をした人も知らなかったことですが、このたった一人の庭師見習いの少年は成長して、当時まだ暗黒大陸といわれていたアフリカの伝道に献身するのです。彼は、開拓伝道者としてアフリカのある地に赴き、その地方の全部族を回心させるようなめざましい働きをします。この少年の名をロバート・モファットといいます。そして、彼の働きに感動してその後継者として献身したのが有名な探検家、宣教師、医師であったデイビッド・リビングストンです。近代アフリカ史に多大な功績を残した人物です。

スコットランドの片田舎の名もない老牧師の生涯は人間の目から見れば、牧師として実り少ないものでした。しかし、神のみ手は、この牧師によって蒔かれた一粒の種をとおして働きが成長し、暗黒大陸といわれたアフリカに福音の光を照らし文明を伝える糸口をつくったのです。このデビット・リビングストン「ひとは自分の仕事が終わらないうちは死なない」との言葉を残しました。

私たちは人の計画や見える結果にだけ目を奪われます。神様のご計画は、私たちの思いの及ばない広さ深さがあることを見忘れないようにしなければなりません。パウロは「ああ、神の富と知恵と知識のなんと深いことか。だれが、神の定めを究め尽くし、神の道を理解し尽くせようか」（ローマ書11:33）と言っています。

本校で学ぶ。実は私のような者がと思える存在に神様は関心を持たれ、ご自身のご計画

と働きに用いようとあえて選んで下さったのです。これからの学びは、そのような生涯がありえることを考えさせてくれる時間でもあるのです。

(2012年5月11日入学式祝辞要約)

学校での学びに寄せて

本科第27期生 田畑 実

私は幼い頃から、軍国主義、天皇絶対主義の中で過ごしてきました。日本の国は天照大御神から引き継がれてきた天皇陛下が治めているので、戦争は絶対に負けないということ信じさせられていました。太平洋戦争が終わるまで（旧制高校2年生）そのことを固く信じていました。その日本が負けたことで精神的に大きなショックを受けました。今まで信じていたことは何だったのかと、いろいろ迷い考えていたときに、たまたま教会の看板を見つけ、信者さんの家庭で行われている教会に行ったのが信仰の始まりでした。

その後、主の導きにと信仰により救われて感謝と喜びの信仰生活を送らせて頂くことになりました。仕事は医師として主に行政畑で公衆衛生の分野で29年、これが嫌な出来事で辞め、次いで産業保健の分野で29年働きました。しかし、この間は日曜日（聖日）での出勤や仕事が多く、また妻が病気になりその介護のため、礼拝を守ることが妨げられることが多くありました。このような中で、聖書をもっと学びたいと思っていてもなかなか出来ませんでした。

妻は闘病の上に3年前に召されました。産業保健の仕事も本年3月で辞めました。今までいろいろと自分なりに聖書も読み説教も聴きましたが、これからは時間が出来たので、独りよがりではなく、落ち着いて系統的に聖書を学ばせて頂こうと思っています。そし

て、ただ知識を得るだけでなくその内容を教会生活の中に活かし、確信を持って伝道に励みたいと思います。

(日本キリスト教団北九州復興教会員)

ヘブル語にふれて

本科27期 井上 千鈴

本校で学ぶ御恵みに感謝いたします。入学してからの第1回目の授業は、吉住和義先生による「ヘブル語入門」で、神の言葉を伝える原語に魅了されました。詩篇23編をテキストに、新改訳、新共同訳、フランシスコ会訳で原語のもつニュアンスを味わいました。直訳された原文を、的確に美しい日本語に置き換えるのはパズルをするような楽しさでした。原文にぴったりくる日本語を探すのは、御心を探し求めるようでした。

吉住先生は、「ヘブル語はとてもシンプルな言語だ。」と、言われます。説教で時々、「憐れむとは、はらわたが痛むという語が当てられている」と語られるのを思い出します。魂とからだが一体になっている感じがします。ヘブル語は同じ単語がいくつもの意味を表します。今、語っていることの意味を聞き取るには、からだ全体での経験が求められます。

人の思いを反映させた神でなく、常に主イエスの父なる神の御心に立ち返るように、この不思議な文字で伝えられるみ言葉を聴いて行きたいと思います。

(日本キリスト教団行橋教会員)

2012年度 祝入学式

5月11日(金)午後7時より入学式が行なわれた。場所北九州YMCA。司会広川和行教頭、賛美歌332(主はいのちを)一同、聖書祈禱 原田昌樹牧師、新入生点呼 上山

信弥牧師、特別演奏 チャイムクワイア(香住ヶ丘キリスト教会)式辞 野村幸生校長、新入生代表宣誓井上千鈴姉、讃美歌502(いともかしこし)、祝辞 山口晶久理事長、頌栄540(みめぐみあふるる)、祝祷 塩屋 弘牧師。

2012年度 入学者氏名

□ 本科第27期生

井上 千鈴 (日本キリスト教団行橋教会員)
田畑 実 (日本キリスト教団北九州復興教会員)
高瀬 紀子 (カトリック黒崎教会員)
杉本 和彦 (チャーチオブクライスト・ニュージーランド日本北九州クリスチャンの集い会員)

□ 研究科(通学)第20期生

石黒 晴恵 (単立北九州福音センター会員)

2012年度

礼拝説教者及び講義担当者氏名

説教者 野村幸生

(校長・香住ヶ丘キリスト福音教会牧師)

吉住 和義

(日吉台キリスト教会牧師)

上島 信弥

(野の花クリスチャンチャーチ牧師)

塩屋 弘

(ウェスレアン・ホーリネス教団

戸畑高峰教会牧師)

金 度亨

(日本キリスト改革派小倉田原伝道所牧師)

原田 昌樹

(チャーチオブクライスト・ニュージーランド日本

北九州クリスチャンの集い牧師)

廣川 和行

(教頭・日本キリスト兄弟団新下関教会牧師)

山口 晶久

(北九州信徒聖書学校理事長)

角本 尚彦

(日本バプテスト連盟小倉キリスト教会牧師)

福田 昌治

(元日本バプテスト連盟富野バプテスト教会牧師)

松谷 暉介

(日本キリスト教団鉄町教会牧師)

鮫島 則雄

(日本バプテスト連盟門司港キリスト教会牧師)

木本 正徳

(同窓会会長・日本バプテスト連盟高須キリスト教会員)

門田 典子

(日本ナザレン教団八幡教会牧師)

大原 高久

(日本同盟教団小倉中央教会牧師)

久多良木和夫

(日本キリスト教団北九州復興教会牧師)

名古屋義弘

(日本キリスト教会下関教会牧師)

中谷 清

(日本キリスト教団小倉徳力教会牧師)

講義科目担当

本科	ヘブル語入門①②	吉住和義牧師
	リーダーシップ論①②	藤本 新二氏
	モーセ5書 ①②	塩屋 弘牧師
	③④⑤	廣川和行教頭
	預言書緒論 ①②③	塩屋 弘牧師
	④⑤	廣川和行教頭
	聖文学 ①②	廣川和行教頭
	教会音楽 ①②	金谷めぐみ氏
	信徒伝道論 ①②	原田昌樹牧師
	礼拝学概論 ①②	大原高久牧師
	教理解説 ①②③④	野村幸生校長
	イエス伝講義①②③	上島信弥牧師
	説教概説 ①②	塩屋 弘牧師
研究科	教理史 ①②③	上島信弥牧師
	牧会学概論 ①②	森上洋介牧師
	新約神学概論①②	原田昌樹牧師

③④ 野村幸生校長

個人伝道法 ①②③ 上島信弥牧師

祈禱論 ①② 山口晶久理事長

旧約神学概論①②③④吉住和義牧師

説教学演習 ①② 野村幸生校長

カウンセリング①② 廣川和行教頭

経済思想史 ①② 増田 賜氏

教義学 ①② 久多良木和夫牧師

福音と文化 楊 周漢牧師

第8回ピスガ聖会

主題 「神のみ旨を探りて生きる」

聖書 「この町には、私の民が大勢いる」

(使徒18; 9~11)

講師 仁川桂山中央メソジスト教会

Gyesan Centoral Methodist Church

(会員7000人)

名誉牧師 崔 世雄 監督

(韓国メソジスト教団監督、ジョン・ウエスレー伝道学校設立及び初代理事長、メソジスト神学大学財団理事長、韓日伝道の種子作り宣教会韓国総裁、日本福音宣教会 Japan Evangelikal Mission 代表)

日時 2012年8月19日(日)

午後4時~6時

会場 ステーションホテル小倉4階吉祥の間

(北九州小倉北区浅野1-1-1)

編集後記

6月に台風が上陸したのは2004年以来。皆さまの地域では如何でしたでしょうか。主にある平安をお祈りします。本校の働きとその使命に寄せられます日頃のご加禱とご支援に深い感謝を申し上げます。